Scilligence 社製研究情報管理統合プラットフォーム

Scilligence Version 7.1 リリース

Scilligence 社では、電子実験ノートを中心にプロジェクト管理や在庫管理など研究情報を一元管理できるウェブベースの研究情報管理統合プラットフォームを提供しています。電子実験ノート ELN、分子情報・アッセイデータ登録システム RegMol、在庫管理システム Inventory の各製品では、低分子化合物から核酸・ペプチド・タンパク質・抗体などの生体高分子、細胞株や生体組織まで、多様なモダリティのデータを一元的に取り扱えます。本稿では、Version 7.1 で実装された新機能について紹介します。

Scilligence 統合プラットフォームの特長

Scilligence 社の研究情報管理統合プラットフォームは、以下の製品で構成されています。

- 電子実験ノート : ELN
- 分子情報およびアッセイデータ登録システム : RegMol
- 在庫管理システム : Inventory
- 実験データ管理システム : SDMS
- プロジェクト・ワークフロー管理システム : PMF
- データ解析・可視化ツール : Focus

これらの製品は相互に連携して、研究に関わるさまざまなデータを統合的に管理します。

Scilligence 社製品はウェブアプリケーションで、ユーザーは居室や実験室などにあるパソコンやタブレット端末から利用できます。さらに、アマゾンウェブサービス（AWS）上で運用するクラウドサービスとして提供されるため、サーバーなどのハードウェアを用意する必要はありません。

テンプレートのお気に入り機能

Scilligence ELN は多種多様なテンプレートが用意されていることが特長です。これまでは作成済みのノートのページを My Favorites としてリスト化する機能はありましたが、テンプレート自体をお気に入りに追加する機能はありませんでした。Version 7.1 では Manage Favorites というテンプレートのお気に入り機能が実装されました（図 1）。よく利用するテンプレートを追加することで、テンプレート一覧から探す手間を省き利便性向上につながります。

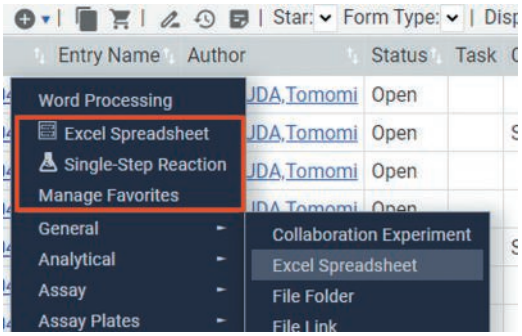

図 1. テンプレートのお気に入り機能
赤枠部分にお気に入りのテンプレートが追加されます。この例では、テンプレートリストから General>Excel Spreadsheet と選択する必要がなくなります。

チャート作成機能

これまでアッセイデータの可視化は Focus で行う必要がありましたが、RegMol Version 7.1 では簡易なチャートを作成できるようになりました。RegMol の Assay Views に登録している項目から X 軸と Y 軸を指定し、チャートを作成できます（図 2）。サンプル ID や構造式、数値データなどの一覧表と比べ、チャート化されることでサンプル同士を視覚的に比較しやすくなります。さらに詳細に解析や可視化をしたい場合は Focus を利用するといった使い分けも可能です。

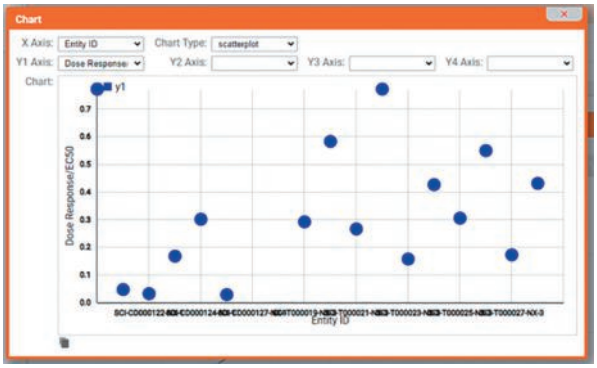

図 2. RegMol の Assay Views を用いて作成したチャート

フィルター機能

これまで、各製品では登録日や名称、ID などのデータ項目でソートする機能は備わっていました（図 3 青枠）。今回のアップデートではフィルター機能が加わり（図 3 赤枠）、ELN ではページのエントリーネームや著者、RegMol では ID やエイリアスなど様々な条件で絞りこむことが可能になりました。求めるデータに、より簡単にアクセスすることができます。

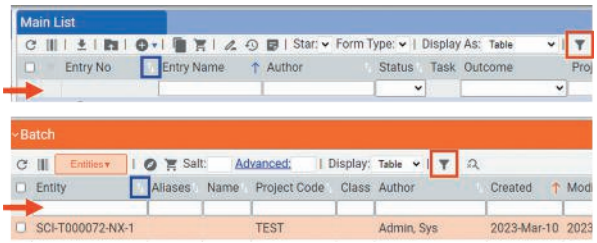

図 3. フィルター機能（上 : ELN、下 : RegMol）
フィルターアイコンをクリックすると赤矢印の入力欄が現れ、表示するデータをキーワードで絞りこめます。